

平成22年度 南幌町地球温暖化防止実行計画に向けた取り組み状況について

地球温暖化防止に関する国際的な取り組みとして、気候変動に関する国際連合枠組条約があり、1997年(H9)12月に地球温暖化防止京都会議(COP3)が開催され、京都議定書が採択されました。この中で我が国については、温室効果ガスの総排出量を2008年(H20)から2012年(H24)までの間に1990年(H2)比で6%削減するとの目標が定められました。

このことから、町では、事務事業に伴い自ら排出する温室効果ガスの削減を図ることを目的とし2007年(H19)1月に「南幌町地球温暖化実行計画」を策定し、職員による地球温暖化防止に向けた取り組みを行っております。

「南幌町地球温暖化実行計画」では、温室効果ガスのうち、二酸化炭素(CO₂)の総排出量を2005年(H17)基準年度と比較し、2010年(H22)までに6%の削減率を目標値にしています。

1 平成22年度の対象施設・公用車

算定対象範囲は、職員が直接実施する町の事務事業すべてとしています。

指定管理制度などによる施設の運営管理にかかる温室効果ガス排出量を除外するとともに、単独取り組みとする町立病院は、平成21年度報告より除外しています。

【対象施設一覧】

分類	施設名
総務課	役場庁舎、夕張太ふれあい館
保健福祉課	保健福祉総合センター
まちづくり課	ふるさと物産館
産業建設課	総合保安センター、柳陽団地集会場、農業農村整備事業推進本部
生涯学習課	南幌小学校、みどり野小学校、夕張太小学校、南幌中学校
学校給食センター	学校給食センター
公民館	公民館、農村環境改善センター
スポーツセンター	スポーツセンター、町営プール
消防支署	消防支署
公用車	公用車（建設機械も含む）、※除雪機、草刈機は除く

※ 中央公園管理棟、リバーサイド遊友館、ふきの塔は、平成19年度より三重レークハウス、町立病院は、平成21年度から除外しております。

※ 対象施設：17施設 対象公用車：45台

2 二酸化炭素(CO₂)総排出量の変更について

指定管理制度等による対象事務事業の変更及び本年3月に策定の第2次実行計画策定により排出係数の変更を行い基準年2005年(H17)、目標値2010年(H22)の二酸化炭素(CO₂)総排出量及び実績数値(平成18.19.20.21年度)を次の通り毎年再計算しています。

【二酸化炭素(CO₂)排出係数】

ガソリン	軽油	灯油	A重油	LPガス	電気
2.32kg-CO ₂ /ℓ	2.59kg-CO ₂ /ℓ	2.49kg-CO ₂ /ℓ	2.71kg-CO ₂ /ℓ	2.32kg-CO ₂ /kg	0.433kg-CO ₂ /kwh

【温室効果ガスの削減目標の変更】

種 類	基準年度総排出量(kg-CO2) 【平成 17 年度】		削減目標	目標年度総排出量(kg-CO2) 【平成 22 年度】	
	当初			当初	
二酸化炭素 CO2	当初	3,036,598	6%	当初	2,854,397
	H19変更後	3,040,010		H19変更後	2,857,603
	H20変更後	2,966,685		H20変更後	2,788,678
	H21変更後	2,322,478		H21変更後	2,183,130
	H22変更後	2,263,146		H22変更後	2,127,357

【温室効果ガス実績数値の変更】

平成 18 年度実績 総排出量(kg-CO2)		削減 率(%)	平成 19 年度実績 総排出量(kg-CO2)		削減 率(%)
H18	2,966,685	2.4			
H19変更後	2,970,386	2.1	H19	3,062,413	+0.7
H20変更後	2,895,618	2.4	H20変更後	2,988,584	+0.7
H21変更後	2,210,042	4.8	H21変更後	2,325,234	+0.2
H22変更後	2,152,961	4.8	H22変更後	2,265,603	+0.1
平成 20 年度実績 総排出量(kg-CO2)		削減 率(%)	平成 21 年度実績 総排出量(kg-CO2)		削減 率(%)
H20	2,779,292	6.3			
H21変更後	2,131,481	8.2	H21	2,172,939	6.4
H22変更後	2,074,622	8.3	H22変更後	2,117,701	6.4

3 平成 22 年度南幌町の事務事業から排出された温室効果ガスの量

平成 22 年度の対象施設及び公用車等の活動による燃料や電気の使用などによる二酸化炭素(CO2)の総排出量は、2,173.1t-CO2 で、平成 17 年度と比べ 90.0 t-CO2 ・ 4.0%の削減となりました。

【基準年 2005(平成 17 年)と実績年 2010(平成 22 年)の比較】

項 目	基準年【H17】		実 績【H22】		増 減		
	使用量	CO2 排出量 Kg-CO2	使用量	CO2 排出量 Kg-CO2	使用量	CO2 排出量 Kg-CO2	削減率% 17 比較
ガソリン	20,907 リットル	48,504	17,558 リットル	40,735	17,689 リットル	△7,769	△16.0
軽 油	60,305 リットル	156,190	59,100 リットル	153,069	45,569 リットル	△3,121	△2.0
灯 油	69,685 リットル	173,516	69,856 リットル	173,941	62,323 リットル	+425	+0.2
A重油	463,800 リットル	1,256,898	446,000 リットル	1,208,660	450,100 リットル	△48,238	△3.8
LPガス	4,936 kg	14,808	4,162 kg	12,486	2,181 kg	△2,322	△15.7
電 気	1,416,236kwh	613,230	1,349,215kwh	584,210	1,317,778kwh	△29,020	△4.7
合 計		2,263,146		2,173,101		△90,045	△4.0

4 温室効果ガスの削減に向けて

H22 年度、町の事務事業による公共施設・公用車等の温室効果ガス(CO2)の総排出量は、2,173.1t-CO2 で基準年 2005 年(H17)比 90.0 t-CO2 ・ 4.0%の削減となりましたが H21 年度実績と比較しますと 2.4%の増となりました。

第 1 次実行計画期間の温室効果ガス排出量推移を見ると冬期間の気候状況(気温、降雪量)により、A 重油・灯油、電気、除雪機械の軽油使用量が変動し単純に比較はできないと考えます。

H17 年基準年度と比較すると全体の燃料や電気の使用量が減少しており職員の地球温暖化対策への意識向上、努力の成果と思われる。

今後も引き続き地域に先導的な役割を果たさなければならない役場として、なお一層の強化した地球温暖化防止の取組みを行う必要があるため、本年 3 月に策定した第 2 次となる「南幌町地球温暖化対策実行計画」に基づき全職員の協力により地球温暖化対策を実施いたします。

【温室効果ガス排出量の推移】

(kg-CO2)

